

大会特別規則

適用規則

2021年公認野球規則，2021年版競技者必携学童野球に関する事項及び特別規則を適用する。

特別規則

1. 登録選手は20名以内，入場行進も20名以内とし，同一服装である。尚，やむを得ず人員がオーバーする場合は，大会本部まで届けること。
2. 選手，監督，コーチは同色，同形，同衣装のユニフォーム，アンダーシャツ，背番号，野球帽子，ストッキング，スパイク等を着用しなければならない。
3. 背番号は，監督30番，コーチ29番，28番，主将を10番，選手は0番から27番とする。
4. 危険防止のため，打者，走者はJ S B B印の耳付きヘルメット，捕手は同印のマスク（スロットガード），プロテクター，レガース，ヘルメット，ファウルカップを着用のこと。金属バットも同印を使用すること。また，ヘルメットは8個以上を用意すること。
5. 登録選手以外の出場は認められない。尚，登録変更については，監督会議にて変更の手続きを行う。
6. ベンチには，代表，監督，コーチ，スコアラーの5名以内と登録選手以外への立ち入りを禁止する。監督，コーチ，選手の服装は，同型のユニフォームを着用し，代表，スコアラーは自チームの野球帽子，紺または黒色のズボン，白色の無地で襟付きのシャツを着用しなければならない。ベンチ内では手袋を着用しない。また，サングラスの使用を禁止する。
ベンチは抽選番号の若い方が一塁側とする。
7. 試合開始と試合終了の挨拶時には，指導者はベンチ前を一步出て整列，挨拶を交わすこと。
8. 試合中の抗議は，当該選手，監督のみとする。但し，ストライク・ボール・ファウル・フェア・アウト・セーフについては抗議できない。
9. 投手は変化球を投げることを禁止する。変化したかの判断は審判員がする。
変化球を投げた場合は，次のペナルティを課すこととする。
 - ① 変化球に対して「ボール」を宣告する。
 - ② 投手が変化球を投げた場合，投げないように監督および投手に厳重注意する。注意したにもかかわらず，同一投手が同一試合で再び変化球を投げたときは，その投手を交代させる。
10. 投手の投球回数制限について
投手の投球制限については，肘・肩の障害防止を考慮し，1日7イニングまでとする。但し，タイプレーク方式の直前のイニングを投げ切った投手に限り，1日9イニングまで投げるができる。
投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては，3分の1回（アウト1つ）未満の場合であっても，1イニング投球したものと数える。
11. 監督が投手のところに行く回数の制限
 - ① 監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお，特別延長戦は，2イニングに1回行くことができる。

② 監督が、同一イニングに同一投手の所に2度目に行くか、行ったとみなされた場合（伝令を使うか、捕手または野手に指示を与えて直接投手の所へ行かせた場合）は、投手は自動的に交代しなければならない。交代した投手が、他の守備位置につくことはできるが、同一イニングに再び投手には戻れない。

1 2. 守備側のタイムの回数制限

捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、特別延長戦は、2イニングに1回行くことができる。野手（捕手も含む）が投手の所へ行った場合、そこに監督が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とする。投手交代の場合は、監督のみ回数には含まない。

1 3. 攻撃側のタイムの回数制限

攻撃側のタイムは、1試合3回以内とする。なお、特別延長戦は、2イニングに1回とする。

1 4. 選手の手袋着用は可、グラウンドコートの着用は禁止（ベンチ内は可）とする。但し、気候等の関係で本部又は審判部が必要と認めた時は両ベンチに通告する。

1 5. 試合は、トーナメント方式とする。

1 6. 全試合7回戦もしくは時間制90分を採用する。90分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。但し、決勝戦は120分とする。

1 7. コールドゲーム（5回7点差）を採用する。但し、決勝戦は適用しない。

1 8. 日没又は雨天などにより試合の続行が不可能と認める場合は、審判員の協議で5回表もしくは5回終了後はコールドゲームとする。

1 9. 試合は7回戦とし、7回を終了または規定時間を過ぎて同点の場合は特別延長戦を1回のみ行う。（特別延長戦は継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とし、無死の状態で1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする）なおも同点の場合は抽選で勝敗を決定する。但し、決勝戦は1回で決着がつかない場合は2回まで特別延長戦を行う。

2 0. シートノックは、その日の初戦のみ5分間とする。但し、大会運営の関係で時間を短縮したり、シートノック無しで試合を開始することもある。シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。

2 1. 試合の進行上、予定時刻が早くなる場合を考慮して球場へは1時間前に到着し、直ちに本部に連絡し指示に従うこと。

2 2. 定刻（試合予定時刻）を過ぎても到着（連絡）しない場合は棄権とする。

2 3. 試合前に登録メンバー全員をオーダー表に記入（ふりがな付記）し、5部提出のこと。前の試合の4回終了時に審判員立ち会いの上、攻守をジャンケンにて決定する。

2 4. ベンチ内での電子機器（携帯電話、PC、携帯マイク、デジカメ等）は禁止する。ベンチ内でのメガホンは、1個に限り許可する。

2 5. 雨天の場合、当日試合を行わない場合と、午前中見合わせて午後から試合を行う場合があるので、大会本部からの連絡に注意すること。試合が当日不可能な場合は大会本部より連絡する。

26. 攻守交代は駆け足で行うこと。実行しないときは審判員が注意を与える。但し、投手に限り内野地区内は歩いても差し支えない。また、攻撃に移るチームはベースコーチ及び第一打者はミーティングに参加せず所定の位置に着くこと。
27. 試合中、グラウンド内での素振りは禁止する。但し、打者・次打者の2名を除く。
28. グラウンド内での素振り用パイプ及びリングの使用を禁止する。
29. 投手の利き腕手首の白いリストバンド・サポーターなどは禁止する。尚、手首の負傷で肌色の包帯などを巻くことは差し支えない。この場合、事前に大会本部に連絡すること。
30. 足を高く上げてのスライディングは危険防止のため禁止する。
31. プレーヤーが塁上に腰を下ろすことは禁止する。
32. グラウンド内の芝生上からのバッティング・ノックは禁止する。
33. ベンチとグラウンドの境にあるエッジ部（コンクリート）については、グラウンドの一部であるため、足を乗せることは禁止する。
34. 好ましくないヤジ、行為には、審判員、控え審判員が積極的にそのチームに注意を与える。再度注意を与えても聞かないときは退場させる。
35. 代表、監督、コーチ、スコアラーは、試合開始から終了時までやむを得ない理由がない限りベンチから出てはならない。また、ベンチ内でのタバコ、ガム、タオルの首巻き等は禁止する。再度注意を与えても聞かないときは退場させる。
36. 太鼓・笛などの鳴り物入りの応援は、球場により禁止の場合があるので、事前に大会本部で確認して下さい。
37. 大会に参加する際は、「健康保険証」またはそれに代わるものを各自持参すること。
38. ゴミの処理は、各チームで責任を持って処理すること。